

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社

代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。野球のワールド・ベースボール・クラシック(WBC)3月14日(日本時間15日)米フロリダ州マイアミで行われた準々決勝で大会連覇を狙っていた日本代表「侍ジャパン」ベネズエラに5-8で敗退が決まりました。試合後大谷氏は「本当に悔しい。力で最期は押し切られたという印象」

自身が得たものについての質問に「僕自身というよりは本当にしっかりしている選手が多く若い選手は投打ともにレベルが上がってきている。球界のレベルがもっと上がってくれば嬉しい」と最終的に野球界全体に視点も向け、未来の若い選手を鼓舞していました。

やはり、怪物と異名を欲しいままにした大谷氏の姿勢。素晴らしいと感じました。桜は散り際が見事。朝、夕寒い日が続きますが、皆様もお身体ご自愛ください。

サンライズの物語

「ただ一緒にいるだけで幸せだった」 娘が語る、母との最期の日々

その方は、肺がん末期と診断され自宅へ戻った方でした。自宅には実の妹とご長男様との3人暮らしでした。ご長女様は他県に居住し頻りに訪問していました。



初めてお会いした時はご自身の過去の既往歴等を話されたり妹さんと旅行へ行った思い出を楽しそうに話され、娘さんからも車いすでイチゴ狩りへ行こうと夢を膨らませたお話をされていたのでした。

そんな中胸に水が溜まり2泊で大学病院へ入院後自宅へ戻ったのですが2日後の朝方、静かに永眠されたのを実の妹さんが気がついたとの事。

家族を思い、苦しい姿を誰にも見せずに旅立った事を思うと家族愛に溢れていたと思いました。

お悔やみに訪問すると穏やかなお顔で眠られていたのです。娘さんから母の介護は辛く悲しかったけれど、母との会話や姿を見ていただけで幸せだったと・・・

幸せとは・・・普段の生活に隠れていて、いつもは見えずに失ってから感じるものだと思うのです。

サンライズのデイサービス陽光だより

誕生日

誕生日カードを差し上げて皆さんで誕生日の歌を歌いお祝いしました。



NEWS 今月のニュース

介護福祉向け『ぷよぷよ』活用ゲーム『ぷよぷよトレーナー』開発開始

国民的落ち物アクションパズルゲーム『ぷよぷよ』シリーズを介護福祉のシーンや認知機能トレーニング向けに最適化したゲーム『ぷよぷよトレーナー』の開発を開始したことをお知らせします。

本取り組みは、介護福祉施設のレクリエーションや日常の余暇時間において「やらなければならない時間」ではなく、思わず手を伸ばしたくなる遊びの時間へと変えていくことを目指しています。ゲームが持つ楽しさや分かりやすさによって、利用者の自発的な参加や周囲とのやり取りが自然に生まれる。そうした変化を、介護福祉の現場で無理なく日常的に生かすことに挑戦しています。

介護福祉領域におけるレクリエーションや余暇活動は、日常的に行われることが前提となります。し

かし、「続けること」そのものが目的になってしまうと、気持ちが置き去りになる瞬間も生まれます。エンタテインメントが持つ楽しさは、本人の自発性を引き出し、周囲とのコミュニケーションを生みやすい特性があります。本取り組みでは、楽しさを目的化するのではなく、利用者にとって参加しやすく、同時に現場で無理なく運用できる体験として設計し直すことで、介護福祉の時間を前向きにする選択肢を増やすことを狙います。

「ぷよぷよ」は、同じ色を4つ以上つなげたら消えるというルールの分かりやすさと、短時間でも成功体験を生みやすいゲーム性を持つ、世代を超えて親しまれてきたパズルゲームです。こうした特性は、年齢やゲーム経験を問わず、多くの人が同じ場で楽しめる可能性を秘めています。

一方で、介護福祉のシーンや認知機能トレーニングの利用を想定すると、操作や進行のスピードなどに配慮し、さまざまな利用者が取

り組みやすい設計が求められます。『ぷよぷよトレーナー』は、『ぷよぷよ』が本来持つ楽しさを損なうことなく、こうした施設の利用環境に合わせて体験を再設計することで、現場で無理なく使われ続けることを目指した取り組みです。勝ち負けや上達を競うためではなく、「同じ画面を見て、同じ時間を過ごす」ことそのものが価値になる。そんな体験を、ゲームを通して届けられないかを問い続けています。



ぷよぷよeスポーツを楽しむ様子

<GLOE株式会社

2026年2月17日>

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>